

2022年10月5日

東急不動産株式会社
東急リゾート&ステイ株式会社

「Value up NISEKO road to 2030」プロジェクト第一弾
ニセコユナイテッドで最も輸送実績のあるリフトを最新型ゴンドラへ刷新
2024年冬シーズンより運行開始予定

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）、東急リゾート&ステイ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：栗辻 稔泰）は、「Value up NISEKO road to 2030」プロジェクト（以下、「本プロジェクト」）第一弾の取り組みとして、北海道倶知安町にて経営及び運営管理するスキー場、ニセコ東急 グラン・ヒラフ（以下、「当スキー場」）において、2024年冬シーズンの運行開始に向け「エース第2センターフォー」（以下、「センターフォー」）の架け替えを決定いたしましたのでお知らせします。



新ゴンドライメージ

■ リフト更新の背景

「JAPOW（Japan+Powder+Snow）」としてニセコのパウダースノーは世界のスキーヤー・スノーボーダーから認知され、国際的なスキーリゾートとなりました。2030年度に向けて北海道新幹線の延伸や、高速道路開通、ラグジュアリーホテルの開発など、世界に誇るリゾートとしてさらなる期待が高まっている場所でもあります。一方で雇用問題や繁閑差による商業・滞在機能の低下などスキーシーズン偏重における課題は多く、オールシーズンに向けた取り組みが急務となっています。

当社グループにおけるホテル・リゾート事業のポートフォリオにおいて、ニセコは旗艦物件として位置付けており、本プロジェクトでは、今回のセンターフォー架け替えを皮切りに、その他スキー場関連施設・索

道についても順次更新し、ゲレンデを活用したアクティビティや滞在空間の創出を通してオールシーズンにおける魅力づくりを進めていき、地域の課題解決に取り組んでいきます。

■ 日本最古のクワッドリフトが最新型ゴンドラへ

センターフォーは、1985年に運行を開始した**国内最古^{※1}のクワッドリフト**で、当時のサンモリッツリフト社が経営するアルペンコースのメインリフトとして開業しました。メインストリートである、ひらふ坂やウェルカムセンターからも至近でアクセスも良く、スキーシーズンの朝には新雪のパウダースノーを求めて、運行開始前から長蛇の列ができるなど人気のリフトとして、長年愛されてきました。**ニセコユナイテッド^{※2}において最も輸送実績があり^{※3}**大動脈的役割を担うセンターフォーですが、築30年以上を経過し、また国際的リゾートを目指すニセコにおいて中枢を担う索道として、本更新によりスキー場全体のイメージの刷新、ゲストの快適性向上、輸送能力の向上を図ります。また4名乗りリフトから10名乗りゴンドラへ生まれ変わり、1時間あたりの輸送量がこれまでの1,800人/時から2,800人/時と大幅に向上するとともに、運転速度も従前の約1.5倍^{※4}まで向上し、これまで混雑していた営業開始直後やピーク時の混雑緩和が期待されます。

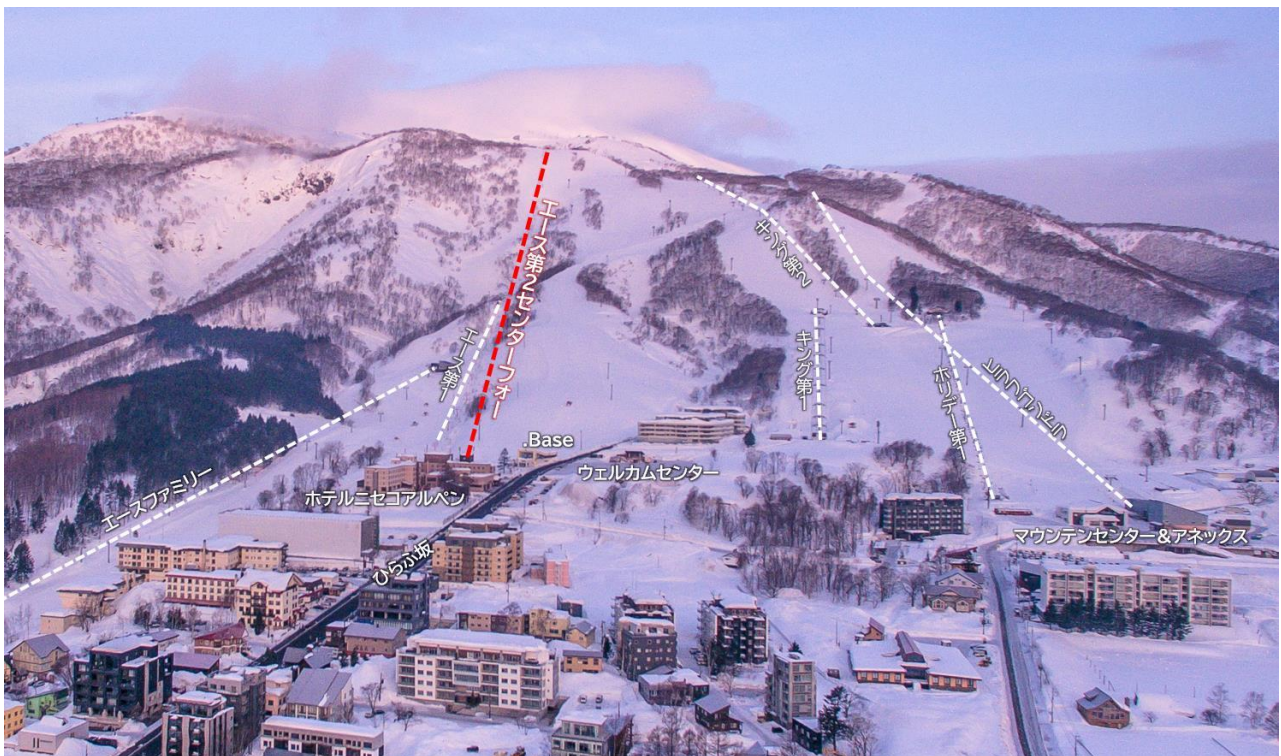
リフト架け替えに伴い、2023-24シーズン終了後に解体工事に着手（2022-23シーズンは通常通り運行。解体工事着手前も運行に影響がない範囲で一部工事は先行して実施予定）、2024年冬シーズンに新ゴンドラを運行開始する予定です。

※1 国内初の4人乗り自動循環式チェアーリフト第1号機 (<https://ansaku.jp/publics/index/40>)

※2 ニセコアンヌプリ山の裾野に広がる、「ニセコ東急 グラン・ヒラフ」「ニセコ HANAZONO リゾート」「ニセコビレッジスキーリゾート」「ニセコアンヌプリ国際スキー場」からなる4つのスキー場

※3 2004年「ニセコマウンテンリゾート グラン・ヒラフ（現ニセコ東急 グラン・ヒラフ）」開業からの累計

※4 旧リフト：(スキーシーズン)4.0m/秒→新ゴンドラ：6.0m/秒



センターフォー位置

写真提供：倶知安観光協会

■ オールシーズンリゾートに向けて

ニセコ地域全体で推し進める、「自転車の聖地」に向けた取組みとして、ダウンヒル、フロートレイルといったマウンテンバイクのコースを備えたゲレンデアクティビティにも対応できるよう、更新されるゴンドラ搬器内にバイクラックを搭載予定。また羊蹄山を眼前に壮大なパノラマビューを楽しんでいただけるよう 360 度スクリーンを採用。その他、ゲレンデ中腹における施設のリニューアルも計画しており、グリーンシーズンにおいては羊蹄山のビューを楽しめ、スキーシーズンにおいてはノンスキーヤーでも楽しめる新たなアプレスキーのスポットとなるように計画を推進。

これまで、2016 年にキング第 3 リフト、2017 年にエースファミリークワッドリフトの架け替え、2019 年にスキー場施設「マウンテンセンターアネックス」を新設いたしました。今回更新されるゴンドラを活用したオールシーズン化に向けた様々な取組みを計画、スキーシーズンだけでなくオールシーズンで幅広くご利用いただけるように取り組んで参ります。



自転車ラック（イメージ）



フロートレイルコース

■ 東急不動産のニセコ開発

1963 年	東急不動産、リゾート観光事業スタート
1985 年	東急不動産がニセコ高原観光（株）の株式を取得、 「ニセコひらふスキー場」「ニセコワイズスキー場」の経営へ
1992 年	ニセコ 花園スキー場開業
2004 年	ニセコ国際ひらふアルペンコースを統合、現在のニセコ東急 グラン・ヒラフを開業
2011 年	ひらふスキー場リフト開設 50 周年
2021 年	Value up NISEKO road to 2030 始動
2022 年	倶知安町と「スキーの町宣言 50 周年を契機とするオールシーズン型国際リゾートの形成に関する包括連携協定書」を締結



ヒラフゴンドラリニューアル
(2011年)



マウンテンセンター新設
(2011年)



.Base (ドットベース) 新設
(2012年)



キング第3リフトリニューアル
(2016年)



**エースファミリーリフト
リニューアル**
(2017年)



**マウンテンセンター
アネックス開業**
(2019年)